

# 全国のトラスト会員へ発送

## 山王寺本郷棚田実行委



農産物の箱詰め作業をするメンバー＝27日、雲南市大東町山王寺の集会所

# 旬の恵みに感謝の気持ち込め

「日本の棚田百選」の一つ雲南市大東町の「山王寺の棚田」を守る「山王寺本郷棚田実行委員会」(高島幹雄会長)が28日、棚田の保全活動を資金面で支援しているトラスト会員に、山王寺の旬の農産物を発送した。

棚田保全の一環で同実行委員会では、水土里ネット島根(島根県土地改良事業団体連合会)の協力も得て、5年前から1口1万円度トラスト会員を募集している。今年度の会員

は県内のほか、関東中部、中国地方などの24人(29口)。27日に地区の集会所であった箱詰め作業にはメンバー5人が参加。棚田で栽培されたコメ「山王寺棚田舞」

5キや古代米1合と、餅地元産のタイコン、ハクサイ、タカナ、シイタケ、ネギ、梅干、ユズ、キクイモなど20種類近くの農産物をダンボール箱に詰め、ユズ、キクイモの食べ方を記入したレシピなども一緒に入れた。棚田の旬の恵みと感謝の気持ちを詰めた箱

を送る取り組みは4年目で、トラスト会員に喜ばれているという。同実行委員会事務局の

高木健次さんは「農産物の種類が多いと喜ばれ、会員数も徐々に増えていきます」と話した。